鈴鹿亀山地区
高齢者介護に関する調査結果報告書
〔居宅介護支援事業所調査〕

令和８年３月

鈴鹿亀山地区広域連合

目次

Ⅰ　調査の概要……1
1　調査の目的……1
2　調査の方法……1
3　配布・回収数……1
4　報告書の見方(注意事項)……1
Ⅱ　調査結果……2
1　貴事業所の状況について……2
2　ケアマネジメントについて……9
3　介護予防ケアマネジメントについて……12
4　地域包括ケアについて……16

Ⅰ　調査の概要

1　調査の目的

この調査は、令和 9 年度から実施する「第 10 期介護保険事業計画」の策定作業の中で、介護保険事業の円滑な実施と、高齢者の保健福祉サービスを充実させるための基礎資料として活用することを目的に実施したものです。

2　調査の方法

① 調査対象地域　鈴鹿亀山地区全域
② 調査対象者　鈴鹿亀山地区広域連合管内居宅介護支援事業所及び介護予防支援事業
③ 調査期間　令和 8 年 1 月(調査基準日は令和 8 年 1 月 1 日)
④ 調査方法　郵送によって配布し、調査票またはウェブにて回答・回収

3　配布・回収数

配布数	未着数	有効配付数	回収数	回収率	白紙等	有効回収数	有効回収率
79	—	79	69	87.3%	—	69	87.3%
うち調査票			34	43.0%	—	34	43.0%
うちウェブ			35	44.3%	—	35	44.3%

4　報告書の見方(注意事項)

① グラフおよび表中の n 数(number of cases)は、「無回答」や「不明」を除く回答者数を表しています。
② 調査結果(グラフおよび表中)の比率は、その設問の回答者数(n 数)を分母として、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出し、小数点以下第 1 位までを表示しています。したがって、端数処理のため、回答比率の合計は必ずしも 100%にならない場合があります。
③ 複数回答形式(複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問については、その設問の回答者数(n 数)を分母として比率を算出しています。したがって、すべての回答比率の合計が 100%を超えることがあります。
④ 令和 4 年度に実施した前回調査（第 9 期介護保険事業計画の策定にかかる調査）において同一の設問を行っている場合は、前回調査との比較を行っています。その際、前回調査については「第 9 期調査」と表示しています。
⑤ 選択肢の語句が長い場合、本文や図表中では省略した表現を用いている場合があります。

Ⅱ　調査結果

1　貴事業所の状況について

問 1　貴事業所の形態をお選びください。（1 つを選択）
【第 10 期調査 n=69、第 9 期調査 n=70】

「その他のサービス事業と併設」が 63.8%で最も多く、「単独型の居宅介護支援事業所」が 24.6%で続いています。最も少ないのは「地域包括支援センター」で 11.6%です。

「その他のサービス事業と併設」は第 9 期から第 10 期にかけて 1.9 ポイント減少しました。なお、引き続き「その他のサービス事業と併設」が 6 割台半ばを占めています。

	第10期	第9期
単独型の居宅介護支援事業所	24.6%	22.9%
地域包括支援センター	11.6%	11.4%
その他のサービス事業と併設	63.8%	65.7%

問 2　貴事業所が現在、サービスを提供している地域をお選びください。（複数選択可）【第 10 期調査 n=69、第 9 期調査 n=72】

「鈴鹿市・亀山市全域」が 39.1%で最も多く、「国府［鈴鹿第 2］」が 33.3%で続いています。最も少ないのは「椿［鈴鹿第 1］」で 2.9%です。

「鈴鹿市・亀山市全域」は第 9 期から第 10 期にかけて 19.7 ポイント増加しました。サービス提供地域として「鈴鹿市・亀山市全域」を挙げる事業所が増加しています。

	第10期	第9期
鈴鹿市・亀山市全域	39.1%	19.4%
鈴鹿市全域	26.1%	20.8%
亀山市全域	8.7%	12.5%
加佐登［鈴鹿第１］	13.0%	18.1%
石薬師［鈴鹿第１］	18.8%	19.4%
久間田［鈴鹿第１］	5.8%	12.5%
椿［鈴鹿第１］	2.9%	9.7%
深伊沢［鈴鹿第１］	2.9%	6.9%
鈴峰［鈴鹿第１］	4.3%	11.1%
庄内［鈴鹿第１］	13.0%	16.7%
国府［鈴鹿第２］	33.3%	22.2%
庄野［鈴鹿第２］	21.7%	16.7%
牧田［鈴鹿第２］	17.4%	15.3%
井田川［鈴鹿第２］	10.1%	13.9%
河曲［鈴鹿第３］	15.9%	15.3%
一ノ宮［鈴鹿第３］	18.8%	18.1%
神戸［鈴鹿第３］	21.7%	18.1%
長太［鈴鹿第４］	21.7%	22.2%
箕田［鈴鹿第４］	17.4%	19.4%
若松［鈴鹿第４］	21.7%	23.6%
玉桜［鈴鹿第５］	26.1%	27.8%
稲生［鈴鹿第６］	26.1%	22.2%
飯野［鈴鹿第６］	23.2%	16.7%
白子［鈴鹿第７］	26.1%	25.0%
鼓ヶ浦［鈴鹿第７］	17.4%	16.7%
愛宕［鈴鹿第７］	15.9%	13.9%
旭が丘［鈴鹿第７］	27.5%	22.2%
栄［鈴鹿第８］	14.5%	12.5%
郡山［鈴鹿第８］	21.7%	13.9%
天名［鈴鹿第８］	8.7%	6.9%
合川［鈴鹿第８］	10.1%	5.6%
井田川北［亀山第１］	7.2%	8.3%
井田川南［亀山第１］	5.8%	5.6%
川崎［亀山第１］	15.9%	9.7%
野登［亀山第１］	11.6%	8.3%
東部［亀山第１］	11.6%	6.9%
南部［亀山第１］	7.2%	5.6%
昼生［亀山第１］	7.2%	4.2%
白川［亀山第２］	5.8%	4.2%
神辺［亀山第２］	7.2%	4.2%
野村［亀山第２］	11.6%	8.3%
城東［亀山第２］	7.2%	4.2%
城西［亀山第２］	8.7%	5.6%
城北［亀山第２］	7.2%	2.8%
御幸［亀山第２］	11.6%	5.6%
本町［亀山第２］	13.0%	9.7%
北東［亀山第２］	7.2%	4.2%
天神･和賀［亀山第２］	11.6%	6.9%
関宿［亀山第２］	10.1%	4.2%
関北部［亀山第２］	7.2%	4.2%
関南部［亀山第２］	4.3%	2.8%
坂下［亀山第２］	5.8%	2.8%
加太［亀山第２］	4.3%	2.8%

問 3　貴事業所の所在地をお選びください。（1 つを選択）
【第 10 期調査 n=68、第 9 期調査 n=72】

「鈴鹿第 3」と「亀山第 1」がともに 13.2%で最も多くなっています。最も少ないのは「鈴鹿第 4」で 5.9%です。

「鈴鹿第 3」は第 9 期から第 10 期にかけて 0.7 ポイント減少しました。所在地は複数の圏域に分かれています。

	第10期	第9期
鈴鹿第１	10.3%	11.1%
鈴鹿第２	10.3%	6.9%
鈴鹿第３	13.2%	13.9%
鈴鹿第４	5.9%	8.3%
鈴鹿第５	10.3%	6.9%
鈴鹿第６	10.3%	9.7%
鈴鹿第７	8.8%	8.3%
鈴鹿第８	7.4%	9.7%
亀山第１	13.2%	16.7%
亀山第２	10.3%	8.3%

問 4-1　専従【常勤】介護支援専門員の人数
【第 10 期調査 n=61、第 9 期調査 n=61】

「1 人」と「2 人」がともに 29.5%で最も多くなっています。

「1 人」は第 9 期から第 10 期にかけて 4.9 ポイント減少しました。「1 人」または「2 人」の事業所が多く、少人数体制の事業所が多いことがうかがえます。

	第10期	第9期
１人	29.5%	34.4%
２人	29.5%	24.6%
３人	19.7%	18.0%
４人	16.4%	13.1%
５～９人	4.9%	9.8%
10人以上	0.0%	0.0%

問 4-2　専従【非常勤】介護支援専門員の人数
【第 10 期調査 n=15、第 9 期調査 n=19】

「1 人」が 66.7%で最も多く、「2 人」が 26.7%で続いています。

第 9 期から第 10 期にかけて「1 人」が 3.5 ポイント増加しました。専従【非常勤】は少人数で配置している事業所が多くなっています。

	第10期	第9期
１人	66.7%	63.2%
２人	26.7%	31.6%
３人	0.0%	5.3%
４人	6.7%	0.0%
５～９人	0.0%	0.0%
10人以上	0.0%	0.0%

問 4-3　兼務【常勤】介護支援専門員の人数
【第 10 期調査 n=26、第 9 期調査 n=39】

「1 人」が 88.5%で最も多く、「3 人」と「4 人」が 3.8%で続いています。

「1 人」は第 9 期から第 10 期にかけて 3.9 ポイント増加しました。兼務【常勤】は「1 人」が大半を占めています。

	第10期	第9期
１人	88.5%	84.6%
２人	0.0%	7.7%
３人	3.8%	7.7%
４人	3.8%	0.0%
５～９人	3.8%	0.0%
10人以上	0.0%	0.0%

問 4-4　兼務【非常勤】介護支援専門員の人数
【第 10 期調査 n=5、第 9 期調査 n=5】

「1 人」が 60.0%で最も多く、「2 人」と「3 人」が 20.0%で続いています。

第 9 期から第 10 期にかけて「1 人」は 20.0 ポイント減少しました。回答数は少ないものの、引き続き「1 人」が最も多くなっています。

	第10期	第9期
１人	60.0%	80.0%
２人	20.0%	20.0%
３人	20.0%	0.0%
４人	0.0%	0.0%
５～９人	0.0%	0.0%
10人以上	0.0%	0.0%

問 5　貴事業所の運営（経営）状況はいかがですか。（1 つを選択）
【第 10 期調査 n=68、第 9 期調査 n=68】

「ほぼ順調」が 60.3%で最も多く、「やや悪い」が 25.0%で続いています。最も少ないのは「非常によい」で 1.5%です。

第 9 期から第 10 期にかけて「ほぼ順調」は 2.9 ポイント増加しました。「ほぼ順調」が 6 割を占めています。

	第10期	第9期
非常によい	1.5%	2.9%
ほぼ順調	60.3%	57.4%
やや悪い	25.0%	27.9%
非常に悪い	13.2%	11.8%

問 6　貴事業所が居宅介護支援事業及び介護予防支援事業を運営する上での課題は何ですか。（複数選択可）【第 10 期調査 n=67、第 9 期調査 n=71】

「介護報酬が低い」が 56.7%で最も多く、「困難事例が多い」が 31.3%で続いています。最も少ないのは「利用者の身体等の状況の把握が難しい」で 1.5%です。

	第10期	第9期
困難事例が多い	31.3%	25.4%
利用者や家族が介護保険制度やサービスをよく知らない	13.4%	15.5%
利用者等からの苦情の対応	4.5%	4.2%
利用者等からのハラスメント（セクハラ、カスハラ等）への対応	14.9%	
利用者の身体等の状況の把握が難しい	1.5%	2.8%
設備・職員等が不足し、利用者のニーズに応えられない	14.9%	15.5%
職員の育成	20.9%	26.8%
職員が短期間に離職する	3.0%	4.2%
超過勤務、休日出勤が多い	10.4%	15.5%
新規利用者の獲得が困難	22.4%	19.7%
介護報酬が低い	56.7%	52.1%
他の事業所との競合が激しい	3.0%	2.8%
サービス提供地域が広範囲なため非効率	16.4%	18.3%
介護保険制度(介護報酬･総合事業等)に関する情報が速やかに入手できない	4.5%	4.2%
法令や制度改正等の内容を十分理解できない	9.0%	7.0%
インフォーマル情報が入手できない	22.4%	19.7%
他の事業所との連携	3.0%	12.7%
医療機関との連携	14.9%	18.3%
市・広域連合との連携	9.0%	12.7%
地域包括支援センターとの連携	11.9%	11.3%
その他	9.0%	8.5%
特に課題はない	4.5%	4.2%

2　ケアマネジメントについて

問 7　貴事業所において、サービスの質的向上を図る上での課題は何だと思いますか。（複数選択可）【第 10 期調査 n=67、第 9 期調査 n=68】

「担当者間でのレベルの差が大きい」が 34.3%で最も多く、「適切な研修の機会が不足している」が 23.9%で続いています。最も少ないのは「職員の入れ替わりが激しい」で 7.5%です。

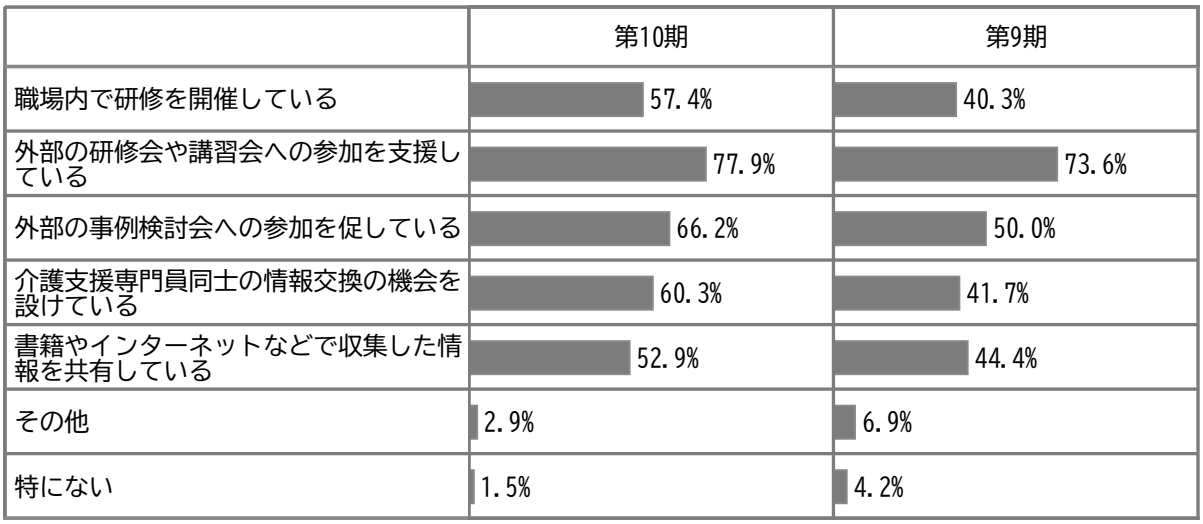
「担当者間でのレベルの差が大きい」は第 9 期から第 10 期にかけて 12.2 ポイント増加しました。サービスの質的向上に向けて、担当者間のレベル差や研修機会の不足が課題として挙げられています。

	第10期	第9期
担当者間でのレベルの差が大きい	34.3%	22.1%
職員の入れ替わりが激しい	7.5%	7.4%
利用者の声がサービスの質的向上に生かされていない	11.9%	11.8%
適切な研修の機会が不足している	23.9%	25.0%
第三者評価が活用されていない	16.4%	13.2%
その他	16.4%	17.6%
特に課題はない	17.9%	23.5%

問 8　介護支援専門員の資質向上を図るため、貴事業所で行っていることはありますか。（複数選択可）【第 10 期調査 n=68、第 9 期調査 n=72】

「外部の研修会や講習会への参加を支援している」が 77.9%で最も多く、「外部の事例検討会への参加を促している」が 66.2%で続いています。最も少ないのは「特にない」で 1.5%です。

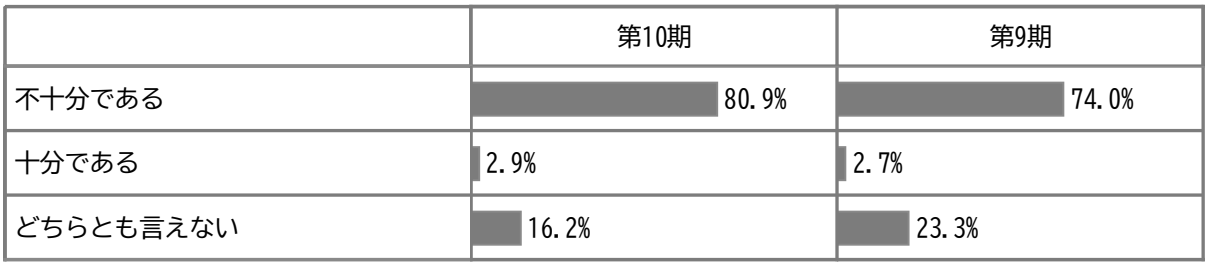
「外部の研修会や講習会への参加を支援している」は第 9 期から第 10 期にかけて 4.3 ポイント増加しました。資質向上に向けた取組としては、外部研修や事例検討会への参加支援が多く挙げられています。



問 9　介護支援専門員の処遇改善について、どのようにお考えですか。（1 つを選択）【第 10 期調査 n=68、第 9 期調査 n=73】

「不十分である」が 80.9%で最も多く、「どちらとも言えない」が 16.2%で続いています。最も少ないのは「十分である」で 2.9%です。

第 9 期から第 10 期にかけて「不十分である」が 6.9 ポイント増加しました。引き続き、処遇改善については、「不十分である」とする回答が 8 割を占めています。



問 10　貴事業所では、利用者や家族からの相談や苦情についてどのように対応していますか。（複数選択可）【第 10 期調査 n=68、第 9 期調査 n=73】

「担当が個別に対応している」が 64.7%で最も多く、「地域包括支援センターに相談している」が 63.2%で続いています。

第 9 期から第 10 期にかけて「担当が個別に対応している」は 1.7 ポイント増加しました。引き続き相談や苦情への対応は、担当者による個別対応と地域包括支援センターへの相談が中心となっています。

	第10期	第9期
相談・苦情専門の担当を配置している	57.4%	52.1%
担当が個別に対応している	64.7%	63.0%
苦情対応マニュアルを作成している	45.6%	43.8%
利用者アンケートを実施している	8.8%	9.6%
地域包括支援センターに相談している	63.2%	64.4%
市役所に相談している	14.7%	20.5%
鈴鹿亀山地区広域連合に相談している	38.2%	35.6%
国民健康保険団体連合会に相談している	1.5%	2.7%
その他	1.5%	8.2%
相談や苦情はない	1.5%	1.4%

3　介護予防ケアマネジメントについて

問 11　要支援の方のケアプランの作成について、地域包括支援センターの委託を受けていますか。もしくは、受けられますか。（1 つを選択）
【第 10 期調査 n=63、第 9 期調査 n=65】

「受けている」が 88.9%で最も多く、「受けていない」が 9.5%で続いています。最も少ないのは「今後受ける予定」で 1.6%です。

第 9 期から第 10 期にかけて「受けている」は 4.9 ポイント減少しました。大半の事業所が受託している一方、第 9 期と比べるとやや低下しています。

	第10期	第9期
受けている	88.9%	93.8%
今後受ける予定	1.6%	0.0%
受けていない	9.5%	6.2%

問 11-②　問 11 で「受けている」と回答した事業所にお伺いします。令和 7 年 12 月の 1 か月間で、何件受託しましたか。【第 10 期調査 n=56、第 9 期調査 n=57】

「1～9 件」が 42.9%で最も多く、「20～29 件」が 19.6%で続いています。最も少ないのは「30～39 件」で 3.6%です。

「1～9 件」は第 9 期から第 10 期にかけて 6.1 ポイント増加しました。受託件数は「1～9 件」が最も多く、比較的少ない件数の事業所が中心となっています。

	第10期	第9期
0件	5.4%	7.0%
1～9件	42.9%	36.8%
10～19件	14.3%	21.1%
20～29件	19.6%	12.3%
30～39件	3.6%	15.8%
40件以上	14.3%	7.0%

問 11-③　問 11 で「受けていない」と回答した事業所にお伺いします。その理由は何ですか。（複数選択可）【第 10 期調査 n=5、第 9 期調査 n=4】

「その他」が 80.0%で最も多く、「人員に余裕がないから」が 20.0%で続いています。

「その他」は第 9 期から第 10 期にかけて 5.0 ポイント増加しました。なお、回答数が少ないため、結果の解釈には留意が必要です。

	第10期	第9期
報酬が低いから	0.0%	0.0%
担当件数が上限に達しているから	0.0%	0.0%
人員に余裕がないから	20.0%	25.0%
その他	80.0%	75.0%

問 12　介護予防・日常生活支援総合事業におけるボランティアやＮＰＯによる介護や生活支援サービスについて、どのように認識されていますか。（複数選択可）【第 10 期調査 n=64、第 9 期調査 n=66】

「あまり活用できていない」が 59.4%で最も多く、「介護サービスで行き届かない部分を補うことができている」が 37.5%で続いています。最も少ないのは「その他」で 3.1%です。

第 9 期から第 10 期にかけて、「あまり活用できていない」は 7.3 ポイント減少している一方、「介護サービスで行き届かない部分を補うことができている」は 14.8 ポイント増加しています。ボランティアやＮＰＯによる介護や生活支援サービスについては、「あまり活用できていない」が最も多い一方、「介護サービスで行き届かない部分を補うことができている」は前回調査より増加しています。

	第10期	第9期
介護サービスで行き届かない部分を補うことができている	37.5%	22.7%
利用者の軽い負担で、簡易な手助けをおこなうことができている	23.4%	19.7%
地域住民がかかわることにより、認知症やうつなどの予防効果につながっている	15.6%	4.5%
あまり活用できていない	59.4%	66.7%
その他	3.1%	0.0%

問 12-②　問 12 で「介護サービスで行き届かない部分を補うことができている」「利用者の軽い負担で、簡易な手助けをおこなうことができている」「地域住民がかかわることにより、認知症やうつなどの予防効果につながっている」と回答した事業所にお伺いします。ボランティアやＮＰＯは、具体的にどのような手助けをすることが有効だと思いますか。（複数選択可）
【第 10 期調査 n=31、第 9 期調査 n=22】

「ゴミ出し」が 96.8%で最も多く、「見守り、声かけ」が 64.5%で続いています。

「ゴミ出し」は第 9 期から第 10 期にかけて 24.1 ポイント増加しました。具体的な支援としては、「ゴミ出し」や「見守り、声かけ」が多く挙げられています。

	第10期	第9期
調理	3.2%	18.2%
掃除・洗濯	16.1%	22.7%
買い物(宅配は含まない)	29.0%	36.4%
ゴミ出し	96.8%	72.7%
外出同行(通院、買い物など)	51.6%	68.2%
見守り、声かけ	64.5%	40.9%
話し相手になること	58.1%	27.3%
相談相手になること	19.4%	18.2%
災害時の避難の手助け	48.4%	40.9%
防犯・防災のための巡回	29.0%	13.6%
住居内での困りごと支援 (家具移動や蛍光灯の取替など)	41.9%	40.9%
その他	0.0%	13.6%

問 12-③　問 12 で「あまり活用できていない」と回答した事業所にお伺いします。その理由は何ですか。（複数選択可）【第 10 期調査 n=38、第 9 期調査 n=44】

「地域による差がみられるから」が 52.6%で最も多く、「提供量が少ないから」が 47.4%で続いています。最も少ないのは「その他」で 7.9%です。

第 9 期から第 10 期にかけて「地域による差がみられるから」は 9.4 ポイント増加しました。活用が進まない理由として、地域差や提供量の少なさが挙げられています。

	第10期	第9期
提供量が少ないから	47.4%	63.6%
柔軟な対応ができないから	28.9%	18.2%
地域による差がみられるから	52.6%	43.2%
質を担保できないから	26.3%	36.4%
継続的に提供されるか不透明だから	36.8%	40.9%
提供内容が分かりづらいから	42.1%	47.7%
その他	7.9%	6.8%

4　地域包括ケアについて

問 13　鈴鹿亀山地区においては「地域包括ケアシステム」の深化・推進に向けて、さまざまな取組を進めていますが、どのような点で取組が進んでいると思いますか。（複数選択可）【第 10 期調査 n=63、第 9 期調査 n=65】

「地域ケア会議の推進」が 55.6%で最も多く、「認知症施策の推進」が 27.0%で続いています。最も少ないのは「安定した居住環境の確保」で 4.8%です。

第 9 期から第 10 期にかけて「地域ケア会議の推進」は 11.0 ポイント増加しました。取組が進んでいる点として、「地域ケア会議の推進」が最も多く挙げられています。

	第10期	第9期
地域ケア会議の推進	55.6%	44.6%
総合相談と情報提供の充実	23.8%	20.0%
介護予防の推進と生活支援サービスの充実	14.3%	13.8%
在宅療養生活の支援	22.2%	24.6%
認知症施策の推進	27.0%	38.5%
高齢者の尊厳の保持	11.1%	3.1%
家族介護者への支援	6.3%	6.2%
安定した居住環境の確保	4.8%	0.0%
サービス提供基盤の整備	9.5%	7.7%
災害や感染症への備えの充実	15.9%	7.7%
介護保険事業の健全運営	20.6%	9.2%
その他	7.9%	3.1%

問 14　家族の介護を理由とする離職者を減らすには、どのようなことが必要だと思いますか。（複数選択可）【第 10 期調査 n=69、第 9 期調査 n=70】

「柔軟なサービス提供」が 73.9%で最も多く、「職場の理解や就労環境の向上」が 72.5%で続いています。最も少ないのは「その他」で 5.8%です。

「柔軟なサービス提供」は第 9 期から第 10 期にかけて 3.9 ポイント増加しました。介護離職を減らすために必要なこととしては、「柔軟なサービス提供」と「職場の理解や就労環境の向上」が多く挙げられています。

	第10期	第9期
職場の理解や就労環境の向上	72.5%	70.0%
介護サービスの周知	33.3%	21.4%
相談窓口の充実	46.4%	30.0%
介護サービスの充実	47.8%	40.0%
柔軟なサービス提供	73.9%	70.0%
介護施設の整備	24.6%	15.7%
介護保険外サービスの充実	58.0%	45.7%
費用負担の軽減	59.4%	57.1%
その他	5.8%	1.4%